

講義名	経済特別演習			授業形態	
担当教員	丸山 亜希子 / 中島 孝子 / 羽森 直子		開講期・曜日・時限	前期 月曜日 2 時限	
	単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード ESM341

主題と概要

この授業は、ファイナンシャルプランナー3級やニュース時事能力検定などの試験内容の学習や、問題演習を通して、経済を中心とした現代社会について理解を深め、応用力を身に付けることを目的とする。本授業は、資格取得や大学院進学を目指す学生の履修を想定し、少人数での演習形式で行う。高いモチベーションを維持しながら試験対策を継続できるように、資格取得や大学院進学を目指す学生に力をつけていく。

また、経済特別演習 は、後期開講の「経済特別演習 」に続くことを前提に授業を進める。

到達目標

制度を含む現代経済社会の知識を習得し、それを資格試験等、次の学習ステップにつなげられるようになる。

提出課題

授業内で問題演習を行う。
また、口頭発表やレポート課題がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業内で、全体または個別に解答・解説を行う予定である。

評価の基準

平常点：受講態度（積極性など）と課題（口頭発表を含む）：50%
期末試験（筆記）または課題レポート：50% 第1回の授業で詳細を説明する。
上記の割合で成績評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

本演習はあくまで、資格取得や大学院進学、企業の調査・研究部門への就職などを旨とする。高い意欲を持つ人達のモチベーション維持とサポートを目的としています。本演習で扱う内容は特定の資格や進路に限定していません。資格取得や大学院進学の際、本演習内容だけでは勉強量が足りていないと考えるのであれば、資格取得や進路先用の勉強は、自分で授業時間外にも行う必要があります。

少人数科目のため定員制限があります。希望者が多い場合、提出書類や面接で選考します。

教科書

.使用しない。

参考図書

.なし。

その他

演習問題やレジュメなど、資料を適宜配布する。

授業計画

- 第1回 イントロダクション
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(240分)
- 第2回 資格FP3級の紹介
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第3回 ライフプランニング
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第4回 資金計画を立てるさいの6つの係数
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第5回 ライフプラン策定上の資金計画
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第6回 住宅ローン金利と返済方法
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第7回 社会保険の全体像
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第8回 社会保険―国民健康保険など
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第9回 社会保険―雇用保険など
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第10回 保険料の納付
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第11回 公的年金の基礎
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第12回 公的年金の特別支給等
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第13回 厚生年金
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第14回 企業年金
予習内容： シラバスや授業内で事前に予告されているテーマについて、各自で事前に調べる。(90分)
復習内容： 講義資料等で復習し、授業内容の理解を深める。(150分)
- 第15回 まとめ
予習内容： これまでの授業内容を講義資料をもちいて振り返る。(150分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

経済を中心とした現代社会の知識を定着させることで、社会的にみて望ましい、個人の行動、企業の行動、政府の行動をより厳密に考えることが可能となる。これにより、ディプロマポリシーの「人間、社会に関するこれまでの学問成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題について、幅広い視点から考察し課題を提案することができるようになる」に到達できる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

クリックシステム（レスポンスやキャンバスクロス）をアンケートや課題の提出に利用する。

実務経験の有無及び活用

備考